

2022 Fanatec GT World Challenge Asia Powered by AWS

Round 5 & 6

大会特別規則書 富士スピードウェイ

大会公示

2022 Fanatec GT World Challenge Asia Powered by AWS は、FIA 国際モータースポーツ競技規則及びその付則に準拠した日本自動車連盟 (JAF) の国内競技規則及びその付則に従って、国際格式として開催される。本競技会特別規則には、富士スピードウェイ発行の「富士スピードウェイ一般競技規則」、2022 Fanatec GT World Challenge Asia Powered by AWS Sporting Regulations (以下シリーズ規則) が含まれる。上記共通規則には、本特別規則が優先される。

a) 開催国 ASN 名称・住所

日本自動車連盟 (JAF) 東京都港区芝大門 1-1-30

b) オーガナイザー

■富士スピードウェイ

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向 694

TEL 0550-78-1234 FAX 0550-78-0205 代表者 原口 英二郎

■FISCO クラブ

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-18

TEL 03-3556-8511 FAX 03-3556-8518 代表者 田中 有光

主管：富士スピードウェイ株式会社

c) 大会開催日と開催場所

GT World Challenge Asia	
7月22日(金)	Free Practice Official Practice Paid Bronze Testing
7月23日(土)	Qualifying Race Rd.5
7月24日(日)	Race Rd.6

d) 大会問合せ先

富士スピードウェイ レース事務局

Eメールアドレス：fcr@fujispeedway.co.jp

電話番号：0550-78-2340 FAX 番号：0550-78-1278

e) サーキットの詳細

- 場所と道順： 静岡県駿東郡小山町中日向694 (道順は日本語版では割愛)
- コース長： 4,563m
- 方向： 右回り

4. ラインに関係するピット出口の場所： 2 ページの案内図を参照

5. FIA サーキット公認グレード： グレード 1

6. FIA ライセンス有効期限： 2023 年 1 月 12 日

f) サーキット内施設

審査委員会室	コントロールセンター2F C201
レース・リカー室	コントロールセンター2F C204
競技受付	コントロールセンター3F VIP ルーム
車検場・水平版・計量場所	6 番ピット
パレクフェルメ	ピットビルA 棟裏及び各自のピット
ブリーフィングルーム	ピットビルA 棟2 階表彰台裏
公式掲示板	電子掲示板
記者会見場	ブリーフィングルーム
メディアセンター	メディア受付センター東隣り
メディア受付センター	ピットビルA 棟2 階ブリーフィングルーム東側

g) 追加トロフィー及び特別賞のリスト

なし

h) 大会競技役員

審査委員会	委員長 水野 雅男 委員 Rikki Dy-Liacco 委員 Tony Tan Cheng Hoe
競技長	堀 守之 / Mori yuki Hori
事務局長	山田 亮太 / Ryota Yamada
国内技術委員長	田近 憲昭 / Noriaki Tadika
国内救急委員長	富川 英和 / Hidekazu Fukawa

i) 参加申込

参加申込先、期間、参加方法、参加費用についてはシリーズ規則に準ずる。

j) レースの距離と決勝出場台数

各レースとも 60 分 45 台

k) スタート方式

ローリングスタートとし、ポールポジションは最前列インサイド (2 番グリッド前方、1 番グリッドの右隣) とする。

l) 赤旗停車位置

赤旗によりレースが中断された場合、全車両は直ちにレースを中止し、何時でも停止できるスピードでゆっくりと赤旗ラインに戻るものとする。

赤旗ライン

予選、ブラクティスセッション…各自の指定作業エリアを停止位置とする。
決勝…全ての車両はピットレーンのファストレーンに進み、ピット出口ラインを先頭で一列で停車するものとする。なお、シリーズ規則第 47 条に記載される“コントロールライン”は“スタートライン”を示す。レース中に赤旗が提示さ

れた場合には、シリーズ規則第 47 条に従う。

m) 自動車番入装置

シリーズ規則第 19.3 項に基づく。

n) 燃料及び競技中の燃料補給に関する規定

燃料をピット内で貯蔵する場合、金属製タンクを用い 1 ピット最大 200 リットルまでとする。

シリーズオーガナイザー (プロモーター/Stephane Ratel Organisation) の指定銘柄を使用する。競技中の燃料補給はシリーズ規則第 37.1 項に則り禁止される。

o) ピットクルーの定数

シリーズ規則第 36.5 項に従う。

p) ピットロードの出入り口のホワイトラインの運用及びピットレーンの速度制限

1. ピットロード

ピットへ出入りする際にコース上の一部をピットロードとして、区分線 (白線) でレース走路と区分する。この白線を跨ぎ、ピットイン、ピットアウトすることは禁止される。またホームストレートを走行中、コンクリートウォール付近の白線やピットレーン出口付近の破線をはみ出しての追い越しや幅寄せは 4 輪ともに逸脱していても危険行為とみなされる場合がある。

2. ピットレーンの速度規制

ピットレーンの制限速度は 50km/h とする。

q) 身分証と通行証

1. 参加が受理された場合には、エントラントによって指名登録された要員、ドライバー、並びにその乗用車、競技車両搬送車等に対して身分証、通行証が交付される。競技期間中はこれらを確認できる位置につけていなければならない。車両通行証については掲付する車両のナンバーを記入の上、フロントガラスの外部より視認できる位置につけること。また他人に貸与したり転用したりすることは厳禁され、違反者に対しては参加資格の剥奪その他の処罰が課せられる。(ドライバーも自己の競技中以外は掲示着用すること)

2. パドック内における通行は身分証、通行証に表示された区域に限定されるが、車両は定められた導線に従って移動させ、必ず指定の場所に駐車し、緊急通路をふさいで他者の走行を妨げたりしてはならない。

r) ドライブスルーペナルティ、ストップ&ゴータイムペナルティ

レース中の違反(反則スタートを含む)によりペナルティが決定された場合、直ちに罰則の種類を示す表示板、及び当該車両の競技番号を記入した黒の表示板がコントロールラインで表示され、合わせてピット放送が行われる。

1. ドライブ・スルー・ペナルティ

ピットレーンに進入し、ピットに停車せずにピットレーン出口からレースに復帰しなければならない。

2. ストップ&ゴータイムペナルティ

ピットレーンに入り、各チームのピットボックスに所定時間停止する。

s) セーフティカー・ライン

セーフティカー導入時、国際モータースポーツ競技規則付則H項2.10.10（※1～3）セーフティカーラインの運用を適用する。（富士スピードウェイ一般競技規則第33条2.（7）掲載。）

t) ピットエリア

ガレージ壁面より 2.5m（黄色線）の内側をガレージエリア、外側のコンクリート路面を「作業エリア」、アスファルト路面を「ファストレーン」とする。

u) ピット/パドックの見取り図

右図を参照のこと。

パートB

1 スケジュール詳細

競技受付日時	7月 21日（木） 9：00
車検開始日時	7月 21日（木） 9：00
フリーフィング日時	7月 22日（金） 9：45
レース開始時刻	Rd.5: 7月 23日（土） 14：45 Rd.6: 7月 24日（日） 13：10

2 大会組織委員会

委員長	森谷 昌弘 / Masahiro Moritani
委員	田中 有光 / Yukimitsu Tanaka
委員	松橋 大二郎 / Daijiro Matsuhashi
委員	小野 泰徳 / Yasunori Ono

3 プロモーターとベアレントASN 指名役員

シリーズゼネラルマネージャー	Benjamin Franassovici
レースディレクター	M. Ravin
テクニカルデリゲート	Seiji Iwakawa
ピットレーンオフィシャル	Wayne Lee
ピットレーンオフィシャル	Karl Daruwalla
計時委員長	Mike Salmon
セーフティカードрайバー	大井 正伸
リーディングカードрайバー	大井 正伸
プレスデリゲート	Tom Hornsby

4 大会競技役員構成

パートA h) を参照

5 抗議料、控訴料、罰金

抗議、控訴、罰金はInternational Sporting Codeに則り、シリーズを承認したベアレントASNで扱われる。受領の代行はシリーズプロモーターが行い、別の通貨に換算して支払いを指示する場合がある。

ベアレントASN：Motorsport Association of Malaysia (MAM)

抗議料	MYR6,000.00
控訴料	MYR2,500.00

6 デジタル掲示板へのリンクを含むその他情報

デジタル掲示板：
https://www.gt-world-challenge-asia.com/noticeboard?meeting_id=45

パートC

スケジュール詳細

公式通知のタイムテーブルを参照。

パートD

大会保険

ドライバーは900万円以上、ピットクルーは400万円以上の有効な保険に加入していなければならない。
オーガナイザーは、上記保険とは別にドライバー、その他ピットクルーに対し、それぞれ100万円の保険をオーガナイザーの責任で付保する。また、オーガナイザーは競技役員のうち、コース上またはこれと類似の場所で役務につく役員に対し、1人当たり100万円以上のレース傷害保険を付保する。

コース公認番号：2021-1104
JAF組織許可番号：2022-00*

以上
大会組織委員会

